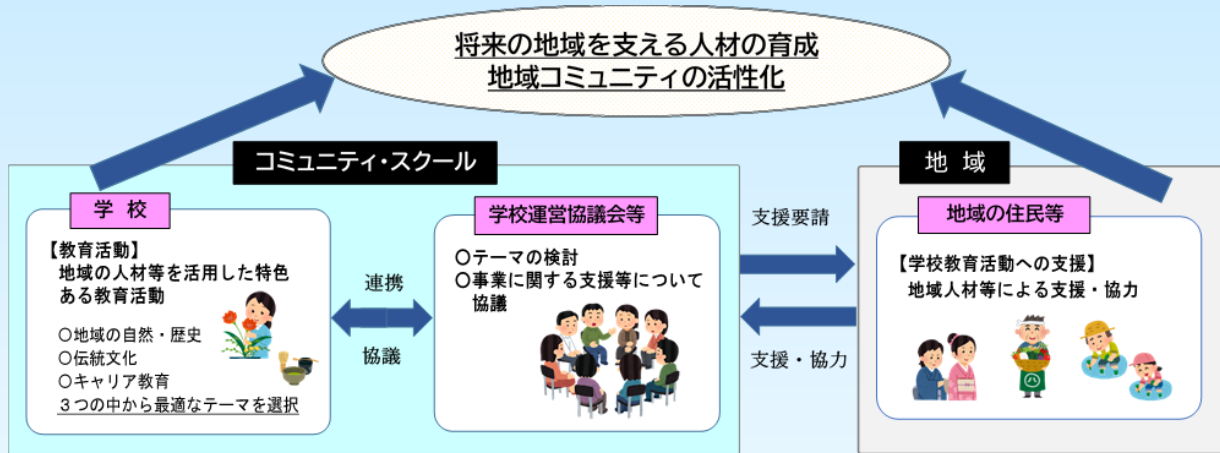


## 学校教育活動地域連携推進事業について

### 1 事業の概要



「自分たちのまちを愛する心」や「将来の地域社会を担う生き方や働き方について考える力」を育むために、地域人材等を活用した教育活動を行う。

具体的には、令和4年度から全ての小中学校等において、それぞれの歴史的、地理的、人的資源等の地域特性や児童生徒等の発達段階を踏まえ、「地域の自然・歴史」、「伝統文化」、「キャリア教育」の3つのテーマから学校運営協議会等と協議しながら、最適なテーマを選択し、地域人材等を活用した取組を行っている。

【令和4年度 校種別テーマ選択状況】

	地域の自然・歴史	伝統文化	キャリア教育	合計
小学校	154	93	35	282
中学校	14	12	37	63
計	168	105	72	345

### 2 本年度の取組事例

#### 地域を守る人材を育成する防災学習 早稲田中学校

テーマ設定にあたり、学校運営協議会の委員から防災士の資格を持つ地域の方々を紹介いただき、地域で起きた豪雨災害の様子や避難方法等についての授業を実施した。生徒の防災意識の向上はもとより、事後のアンケートに「自分も将来、防災士の資格をとって地域を守りたい」という記述が見られる等、地域社会の担い手としての社会性や道徳心が育まれた。



#### 郷土を創る伝統文化の継承 仁保中学校

伝統と文化に対する関心や理解を深め、継承、発展させる態度を育成するために、地域の華道家元池坊広島支部と連携し、華道の専門家を講師に招いて華道体験を実施した。普段は触れる機会の少ない本物の「いけばな」を体験することができた上、講師を務めていただいた地域の方からは、「未来を担う子どもたちに地域の伝統を継承することができた」と好評価をいただいた。



### 3 来年度以降に向けて

教育委員会として、校長会等を通じて、地域連携の図られた取組の好事例を紹介するとともに、学校と学校運営協議会が連携することで地域人材の活用や教育活動の更なる充実を図る。

また、「広島市地域コミュニティ活性化ビジョン」に基づき、今後、各学区の地区社会福祉協議会や連合町内会・自治会が中心となって整備されていく「地域コミュニティの新たな協力体制」の進捗状況を注視しつつ、学校と地域の連携接続の充実を図る。

地域とともにある学校づくり

と

学校を核とした地域の活性化

を併せて実現！